

2017年6月9日

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
産業振興センター

「農業と住宅」の展示会、7/5～6の2日間、マリンメッセ福岡で同時開催！

地元九州で商談ができる B to B の専門展示会として今年も開催！地域振興のトリガーに

「農業資材と農業設備」「6次産業化・農商工連携」を提案
アグリ×フードプロダクツ展 2017 in 九州

一戸建から団地・マンション・賃貸住宅まで、住まいの建材・部材・設備・サービスを提案
第2回九州ホームショー

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村 正己）は、7月5日（水）～6日（木）の2日間、マリンメッセ福岡（福岡市博多区）で、農業生産・加工・流通・販売に関する専門展示会「アグリ×フードプロダクツ展 2017 in 九州」と、一戸建から団地・マンション・賃貸住宅まで、住まいに関する建材・部材・設備・サービスが一堂に集う展示会「第2回九州ホームショー」を開催します。

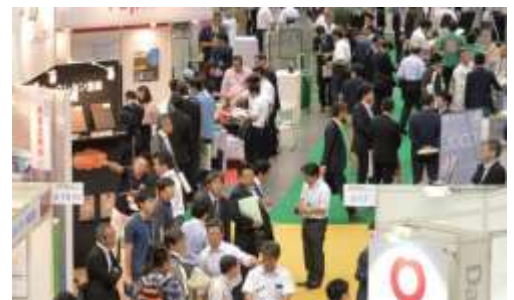
今年3回目の開催となる「アグリ×フードプロダクツ展 2017 in 九州」は、生産、流通に加え、農業 ICT スマートアグリ、植物工場、食品加工機器の全5カテゴリーゾーンにより構成され、最新の農業資材と農業設備を展示するとともに、6次産業化・農商工連携を提案します。

昨年初めて開催し、今回2回目の「九州ホームショー」は、建材・設備に加え、CAD・ソフトウェアなどの設計業務サポート、災害・地震対策、創エネ・蓄エネ・省エネなど、全11のカテゴリーゾーンに拡充。九州圏における顧客フォロー、新規顧客開拓、マーケティングの場としての活用が期待されています。

また、セミナー会場では、2日間にわたり農業、住宅・建築業界に関連する講演会やセミナーを実施し、農業業界・住宅業界における動向や最新情報が発信されます。

（詳細は、次頁以降の注目企画のご案内をご覧ください）

現在、公式ホームページで展示会入場料 1,000 円が無料になる来場事前登録を受け付けています。また、各種講演会やセミナーについても公式ホームページから事前申し込みができます。



(6月9日現在)

開催概要

展示会名	アグリ×フードプロダクツ展 2017 in 九州 / 第2回九州ホームショー	
開催期間	2017年7月5日(水)～6日(木) 10:00～17:00	
会場	マリンメッセ福岡	
主催	一般社団法人日本能率協会	
来場予定者数	3,500名	
展示規模	アグリ×フードプロダクツ展2017 in 九州 58社・団体/74ブース	第2回九州ホームショー 64社・団体/82ブース
出展製品	農業資機材、サービス、肥料、包装資機材、パレット、環境制御装置、植物工場関連製品、食品加工機器ほか	建材・部材、住宅設備、CAD・ソフトウェア・災害・地震対策関連ほか
来場対象	農業生産者（個人・法人）、農業参入検討者（個人・法人）、農業団体・組合、食品メーカー、商社・卸ほか	ハウスメーカー、工務店、リフォーム会社、商社・卸売業、メーカー、設計・施工ほか
URL	http://www.jma.or.jp/ai/kyushu/	http://www.jma.or.jp/khs/

「アグリ×フードプロダクツ展 2017 in 九州」セミナー

- ・会場：マリンメッセ福岡 展示会場内 座席数：100名
- ・聴講：無料（公式ホームページ <http://www.jma.or.jp/ai/kyushu> での事前登録制）

◆7/5（水）

10：30～11：30 『福岡・九州産農林水産物の輸出の取組み（仮）』
福岡県 農林水産部 輸出促進課 課長 松崎 賢明

12：00～13：00 『買いたくなる商品をどうつくる？』
イオン九州株式会社 執行委員 九州商品開発部長 池田 哲也

14：30～15：30 『日本人労働力の現状とこれからの農業経営』
有限会社木乃内農園 役員 代表取締役 会長 木乃内 均

◆7/6（木）

10：30～11：30 『障がい者の活用で経営の黒字化を実現する。脱サラで新規就農、7年目の挑戦。』
株式会社船井総合研究所 人材ビジネスグループ チーフ経営コンサルタント 楠元 武久
アルファイノベーション株式会社 代表 山田 浩太

「ちゃんと儲かる「農福連携」を考える 障がい者の活用で経営の黒字化を実現 脱サラで新規就農7年目の内情を全て見せます！」

12：00～13：00 『日本産農産物の輸出にともなう仮題とその対応について』
九州農産物通商株式会社 代表取締役 波多江 淳二

1. 農産物輸出の現状
 - ・・・農林水産省の公表数値による確認
2. 輸出拡大を取り巻く課題
 - ・・・近隣国との競合激化、輸出ルート間競合、輸出先国の規制措置の他、輸送コスト（フレート）低減、競争力強化の課題 等
3. 課題への対応について考える
 - ・・・特ににフレートの低減、競争力（営業力）強化への対応 相手国の規制措置（とくに厳しい台湾を中心に）に対する 取組み事例 売り込み商品をどのように企画するのか、その考え方

14：30～15：30 『6次産業化、農商工連携その次に来る農業と他業界の連携とは？』
株式会社船井総合研究所 人材ビジネスグループ チーフ経営コンサルタント 楠元 武久

「6次産業化、農商工連携は実際にどれだけ成功しているのか？ 船井総研が考える6次産業化、農商工連携とその次に来る「農業と他業界の連携」とは何か？」

16：00～16：30 『農業における外国人労働の確保について』
有限会社コセンファーム 代表取締役 古川 拓

「九州ホームショー」講演会 ※本講演会は JIACPD・建築士会 CPD 認定プログラム(1 単位)対象です

- ・会場：マリンメッセ福岡 展示会場内 定員：70 人
- ・聴講：無料（ホームページ <http://www.jma.or.jp/khs/>での事前登録制）

◆7/5（水）

11：00～12：00 『住宅生産施策 ～最新の動向～』

国土交通省 九州地方整備局 建政部 住宅調整官 石井 秀明

15：00～15：45 『地方におけるリノベーションビジネスの可能性“古ビル活用を考える”』

一般社団法人リノベーション住宅推進協議会 会長
u.company 株式会社 代表取締役 内山 博文

古ビルの活用が、地方都市や地域が抱える中心市街地の空洞化等様々な課題を解決する手段となり、また増える観光や宿泊需要にも応えるリノベーションビジネスの新たな可能性について、事例を通して解説します。

16：00～16：45 『デザインの川上に向かって』

株式会社スピングラス・アーキテクト 代表取締役 松岡 恭子

（日本建築家協会 九州支部）

課題が複雑化し経済的競争が高度になる社会で、建築家の仕事は依頼された建物の設計だけでなくりつつあります。川上にのぼり、「つくる」ことの意味、「つくりかた」の探求が重要になっていると思うのです。

◆7/6（木）

11：00～12：00 『地域が元気になる仕組みをつくる』

株式会社アトリエ・天工人 取締役会長 山下 保博

様々な地域に眠っている素材や構法を発見し、再編集、新開発することにより、その地域にお金を生み出し、仕事をもたらす。具体的な建築の事例を交えながら、人が集まり、街が形成される仕組みについて提言します。

15：00～15：45 『加速する ZEH 市場～パリ協定が住宅市場に与える衝撃～』

一般社団法人 ZEH 推進協議会 代表理事 小山 貴史

国が主導する ZEH ビルダ登録は 5,000 社を超え 2016 年度の ZEH 建築は約 3 万棟と普及が加速している。国を挙げて強力に推進される ZEH の最新情報とその施策の背景にあるパリ協定が住宅市場に与える影響について解説する。

16：00～16：45 『住宅・住宅産業への社会的ニーズを考える』

株式会社環・設計工房 取締役会長 鮎川 透

現在のような「住宅・住まい方」は、どのような経緯を経て形づくられてきたかをトレースします。それを下敷きに、今後住み手や住宅産業が直面する社会環境の変化や課題を考えます。

当日取材のご案内～報道関係の皆様のお待ちしております～

<プレス登録方法>

取材にあたっては展示会場でのプレス登録が必要です。名刺を 2 枚ご用意いただき、来場当日にプレスルーム（主催事務局内）でお手続きをお願いいたします。また、併設セミナーを聴講される場合は、プレス登録をお済ませのうえ、開始時刻にあわせて直接会場にお越しください。

※テレビ・ラジオ媒体の取材については、事前に下記事務局までご連絡ください。

プレスルーム：マリンメッセ福岡 主催事務局内 7/5～6 各日 9:30～17:00

【本件に関する問い合わせ先】

アグリ×フードプロダクツ展 事務局（担当：栗橋、山口、肥本、田中）

九州ホームショー事務局（担当：堀内、赤木）

〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋 1-2-2 住友商事竹橋ビル 14 階

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター 内

TEL: 03-3434-1988 / FAX: 03-3434-8076 / E-mail: jhbs@jma.or.jp

※取材に関するお問い合わせは、広報室（担当：斎藤 / TEL: 03-3434-8620）へお願いします。